

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学 科 または コース	履 修
農 業	課題研究	2	3	生物生産科	必修

科目のねらい	それぞれ選択教科内での興味関心にあわせ、課題を設定し、その課題を解決する学習をおこなう。これにより、専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を育て、専門性を深める。
使用教材など	それぞれのグループによる

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポイント
一 学 期	4 ～ 7	24	1. グループ分け 2. テーマ設定 ①調査・実験・研究 ②圃場における実習 ③現地調査、経営シミュレーション 3. 分野 ①作物栽培に関する研究 ②果樹栽培に関する研究 ③野菜栽培に関する研究 ④畜産飼育に関する研究 4. 年間計画の立案 5. 活 動 校内プロジェクト発表会における発表 3年生であるので、全グループが発表する。	・原則として、2年次から継続して同じグループ編成、同じテーマによる活動とする。 ・3年間のまとめができるように、しっかりした年間計画を立てさせる。
二 学 期	8 ～ 12	30	6. まとめ 本年度調査結果整理 学習報告集の編集	・夏休み中も活動が途絶えることがないこと。自分でできることを考える。 ・3年生であり、研究の集大成であるので、全グループが校内発表を行う。
三 学 期	1 ～ 3	4		・活動の内容、成果、課題を他の人がわかるようにまとめて発表する。 ・当初の目標に照らし合わせて自己評価をする。

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・生産と経営に関する課題を発見し、その解決に向けて努力しようとしている。	・学習成果について、的確に分析、考察、評価してまとめることができる。	・関連する技術を積極的に身に付けようとしている。	・動植物の生理・生態的特性や、生育及び生産環境について理解を深めようとしている。
評 価 主 たる 方 法	・行動の観察 ・ノートの点検	・プレゼンテーションの作成 ・発表力の評価	・行動の観察 ・ノート及び実習日誌の点検	・行動の観察 ・ノートの点検

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

評 価 項 目 ・ 学 習 に あ た っ て ・ 評 価 点		
①技能・態度 興味・関心	教員から指示されて活動するのではなく、自分から考えて活動することが大切である。調査方法についても、研究に必要なデータの種類や測定方法をあらかじめ予測される結論に応じて選定しておく必要がある。	20点
②ノート・観察記録	毎時間の記録をしっかりと記録し、後でまとめをし易いようにまとめましょう。	30点
③まとめ・発表態度	発表会に向けて、研究のまとめを仲間と協力してしっかり取り組む。また、積極的に堂々と発表会で発表することが大切です。	30点
④出 席	毎時間参加し、意欲的に実験や実習に参加する姿勢が求められます。	20点